

環境省の「生物多様性保全上重要な里地里山(全国 500カ所)」に「八千代市ほたるの里」が選ばれました！

# ほたるの里だより

八千代市ほたるの里づくり実行委員会 第64号 2021年 3月



## ほたるの里（冬）から新川を見る



※この里だよりは 令和2年度 ちば環境再生基金助成金（県民の活動）を頂き作成しました。

## トンボ池のかい掘り

関 和則 (管理部)

日 時：2020年 11月 14日(土) 9:00~11:00

場 所：八千代市ほたるの里トンボ池

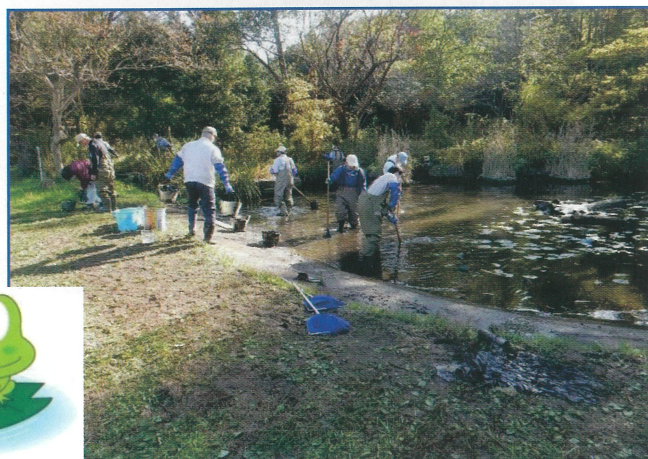
ほたるの里では、トンボ池に生息する外来種の除去(在来種の保護)、水質改善、底泥等の堆積物の除去を目的に、池の水を抜いて、かい掘り(泥さらい)を行っています。かい掘りによる攪乱は、池の生き物の環境に影響を与え、ストレスになることが考えられます。このことも考え、かい掘り時の池の水は、全て抜くのではなく、3割ぐらいの水が残る程度で行っています。池のかい掘りは、毎年、生き物の活動が少なくなる冬に行ってきました。今年度のかい掘りは、前年度のかい掘りが中止になったこともあり、早めの11月に実施する事にしました。

池のかい掘り作業にあたり、池の水が循環する水路や湿地の生き物を保護するため、予めそれぞれの場所で水をせき止め、水の確保を行いました。かい掘り作業では、池の水を排水しながら、底泥をさらってバケツに入れる人、泥の入ったバケツを泥だめ穴に運ぶ人、最後に泥中の生き物を確認し保護する人に分かれて、人海戦術で行いました。

底泥は、前年度、かい掘りを行っていないこともあり量も多く、また泥中には、周辺から入る朽ちた枝木も多く見られました。そして、池の表面に広がっていた緑藻の除去や、繁茂したスイレンの根茎を間引く作業も併せて行うことができました。

今回のかい掘りで見つかった生き物は、在来のヤゴ、タモロコ、モツゴ、ヒメダカ、ドジョウ、スジエビと、外来種では、アメリカザリガニ、ウシガエル、タイリクバラタナゴ、クサガメが確認されました。かい掘りの終了後、保護した在来の生き物は、池に水を溜めながら戻しました。あらためて、トンボ池の生き物の現状を知ることができました。

年一回のトンボ池のかい掘りは、池の循環ポンプの故障の一因となる底泥を除去するだけでなく、池の生き物の、より良い住み家づくりにもつながるものと考えます。そして、かい掘りを通して、今後の池の生き物の変化を観察していけたらと考えます。また、さらに多くの人の参加で、かい掘りを行うことにより、作業を通して楽しみながら、池に住む生き物への理解を深める機会にしていけたらと考えています。



## ザリガニの駆除これまで (2018年~2021年)

深澤 一郎 (ホタルメイト)

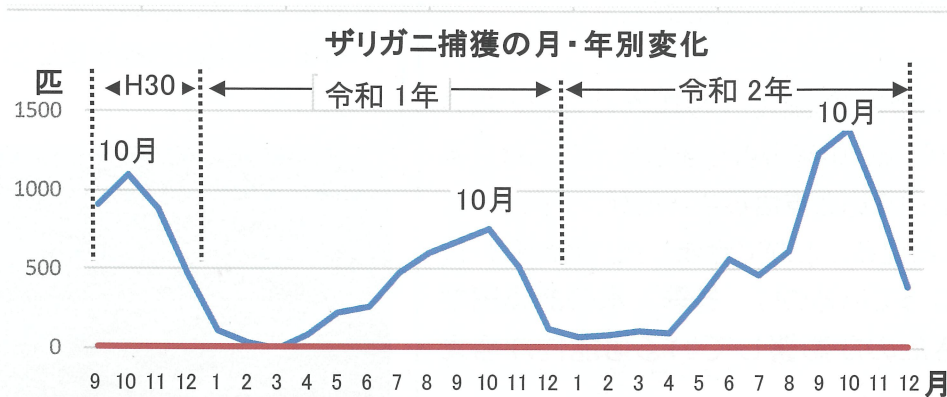
ほたるの里では毎年田植えをしています。3年程前の田植えの時、水を抜き水深が浅くなった湿地のあちらこちらで多数のアメリカザリガニが顔を出しているのが分かり、その数の多さに驚きました。これではせっかく放流したホタルの幼虫もザリガニに食べられてしまい、ホタル自生の目的はかなえられません。そこでザリガニを捕獲しその数を減らすため、ザリガニ捕獲器(トラップ)を作り仕掛けることにしました。

里山むつみ隊から作り方を教わり、100円ショップで材料を集め約20個のトラップを作り、しかけて捕れたザリガニの数を集計記録しました。驚いたことに約2年半の間に捕ったザリガニは1万2千匹にもなりビックリです。記録して分かったことは12月~3月は水温が低くあまり捕れませんが、4月から増え始め10月にピークを迎えます。

トラップの餌には魚肉ソーセージを入れていますが、ザリガニのほかにときどき小魚やドジョウ、ウシガエルのオタマジャクシ、またタニシやカワニナ等は多数入りますが、まれにアカミミガメ、ウシガエルの幼生が入ることもありバラエティーに富みます。

昨年はホタルの自生3匹を確認しました、これはザリガニを減らした影響によるものかも知れません。一方ザリガニを餌とするウシガエルの鳴き声が以前よりあまり聞かれなくなり、そのオタマジャクシも減っています。

生態のバランスが少し変わっているようですが、ザリガニを減らすことはホタルの自生につながりこれからも継続をしていきます。



## ニホンアカガエル卵塊調査 (2003年~2021年)

今年も、2月2日にニホンアカガエルの卵塊7個を確認しました。毎年1月下旬から調査を始め、「今年は？」とワクワク・ドキドキの調査が始まります。2003年から調査を始めていますが、下の表をご覧ください。激減し2014年は0となりました。

里の湿地の状態もポンプが壊れ、水が必要な時期に濁りなど、ハプニングにも悩まされました。奇跡は2020年！ 増えた原因は？ 湿地状況など整備の成果！ と整備する側は励みになります。

桑波田和子 (ホタルメイト)



調査年	2003	2004	2006	2007	2014 ~ 2016	2017	2019	2020	2021 (2月時点)
卵塊数	100	128	60	7	0	3	4	52	30

## ほたるの里 12月～2月 コロナ禍でほたるメイト有志のみ参加



木道の手すりを竹にしました



クビキリギス



里の前のごみ拾いしました

### 島田周辺野鳥調査

日時：2021年2月16日（火）9：00～12：00  
参加者：10名 講師：神 伴之氏（自然観察指導員）  
調査コース：農業交流センター⇒新川⇒富士美橋⇒  
薬師堂（桑納地区）⇒睦の森⇒島田谷津  
調査結果：23種 総数：357羽  
主催：ヤマトミクリの里づくり協議会

調査は毎年2月中旬に実施し、今年で6年目となりました。16日は強風の中を調査しました。こんなに風が強いと飛ぶ鳥も少ないと覚悟しましたが、ノスリ、ヒバリ、ホオジロなど見ることができました。神講師から、ヒバリが少なくなっているのは、冬季、水のある田が少なくなってきたのが影響している可能性が考えられるとのこと。春にヒバリのさえずりを期待したいです。

### 第24回総会ご案内 八千代市ほたるの里づくり実行委員会

日時：4月10日（出）  
10：00～11：00  
場所：やちよ農業交流センター  
第1・2研修室（島田2076）  
内容：  
・令和2年度の事業報告と会計報告  
・令和3年度の活動予定について  
話し合います。



オオバン

## ・ ・ ホタルメイト募集中 ・ ・

- 年会費（4月～翌年3月） ※登録期間は1年間。  
個人 1世帯1,000円 市民団体・事業所 1口 2,000円  
詳しくは、事務局までお問い合わせください。

〔ほたるの里 連絡先〕

八千代市ほたるの里づくり実行委員会事務局

〒276-8501 八千代市大和田新田 312-5 八千代市環境政策室 内

Tel：047-483-1151（内線2216）

E-mail：kankyou1@city.yachiyo.chiba.jp

HP：http://www.city.yachiyo.chiba.jp/123508/page000009.html

〔編集〕広報部会・事務局

